

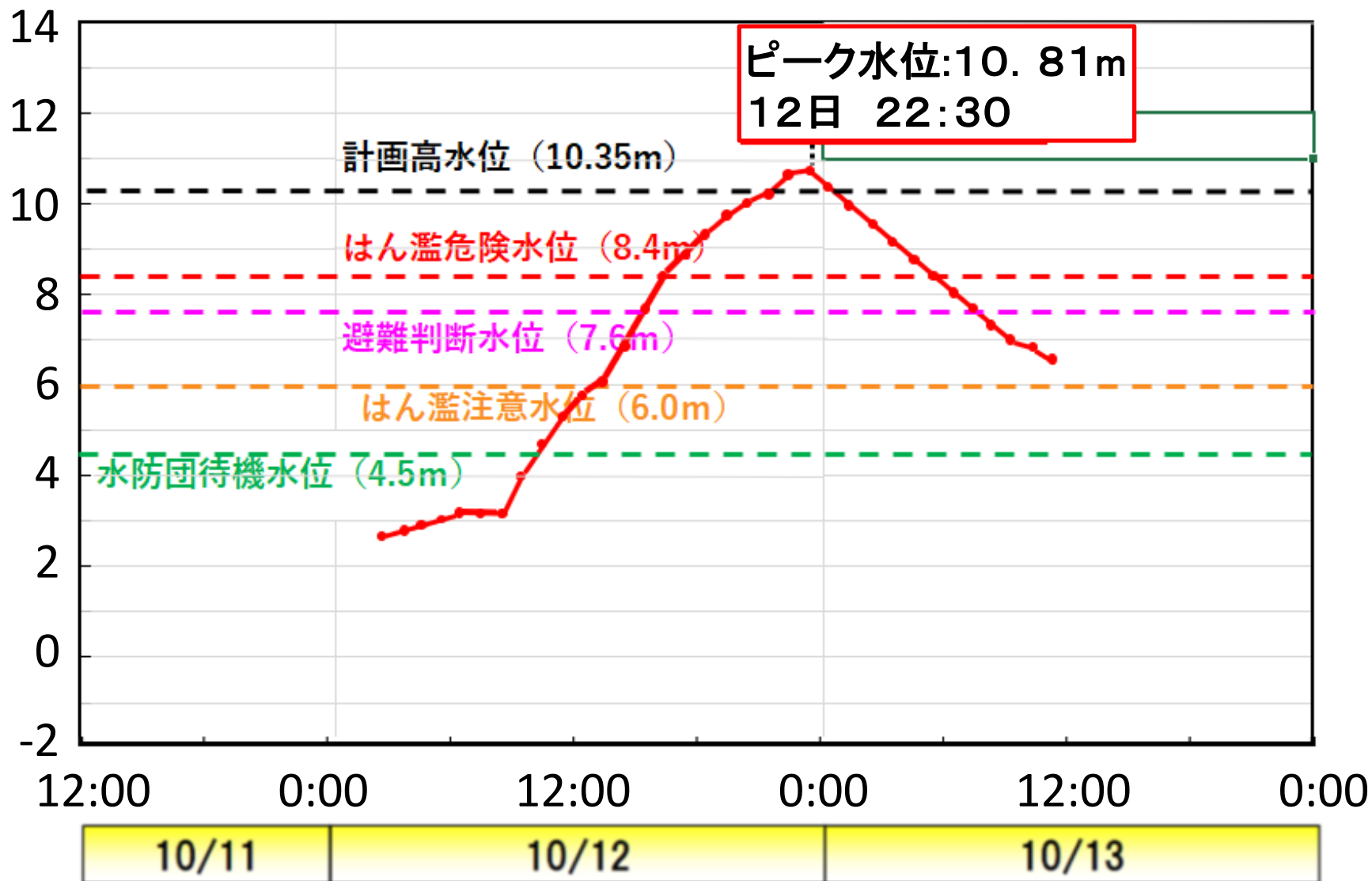
多摩川の水位の状況と 浸水被害の状況

令和元年12月21・22日
世田谷区

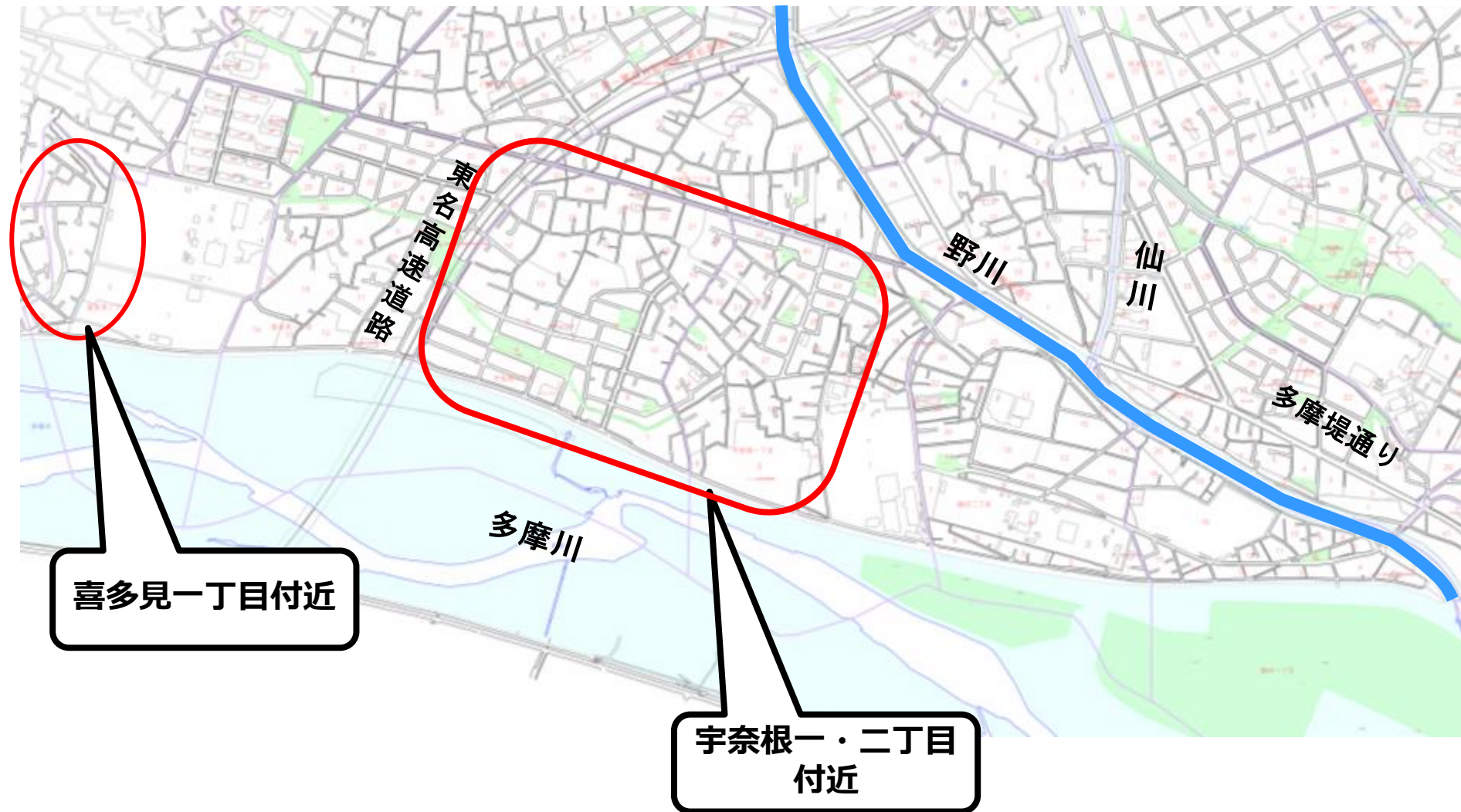
多摩川の水位の状況

水位(m)

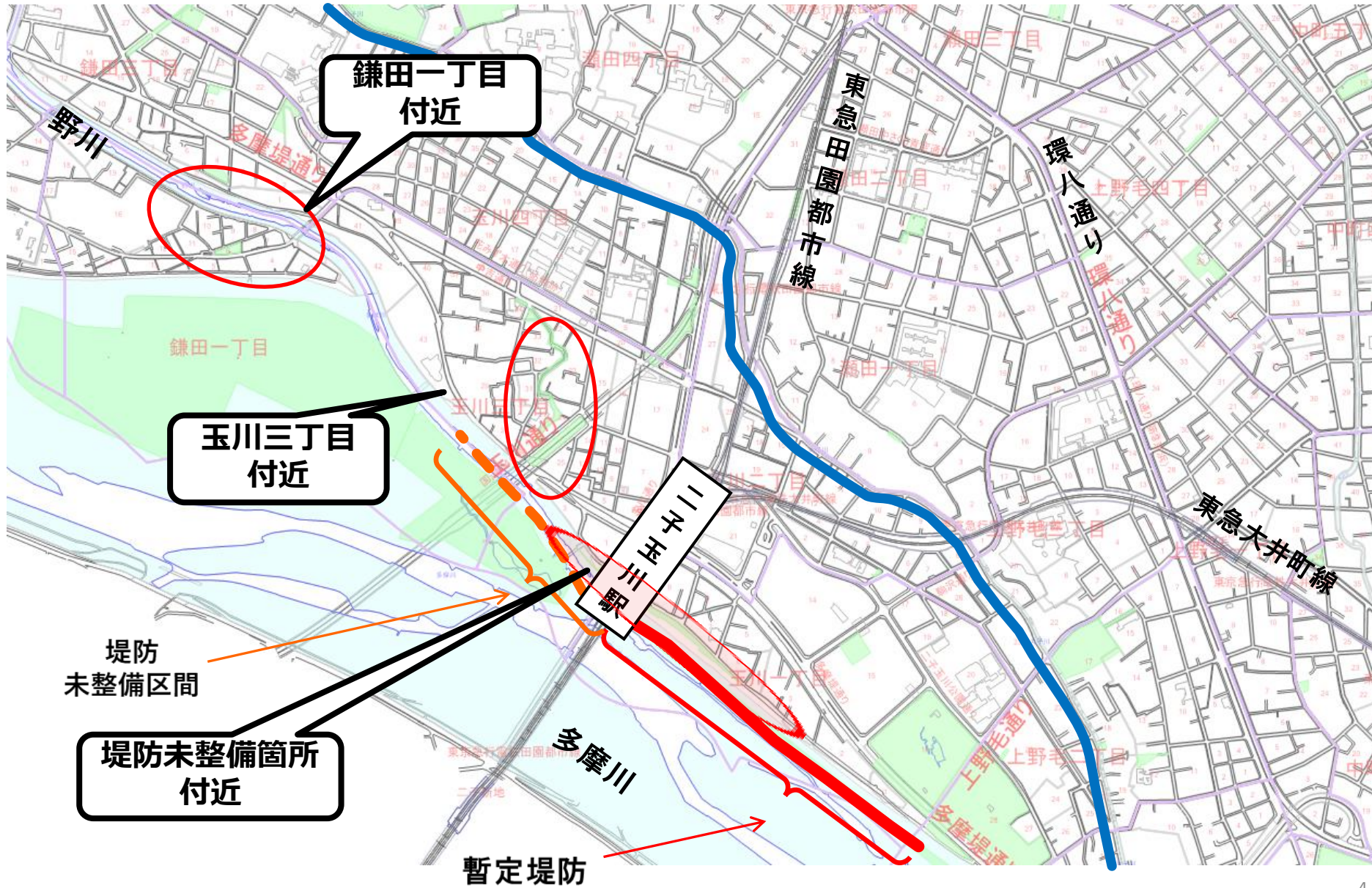
田園調布(上)水位観測所 (13.4k 東京都大田区田園調布)



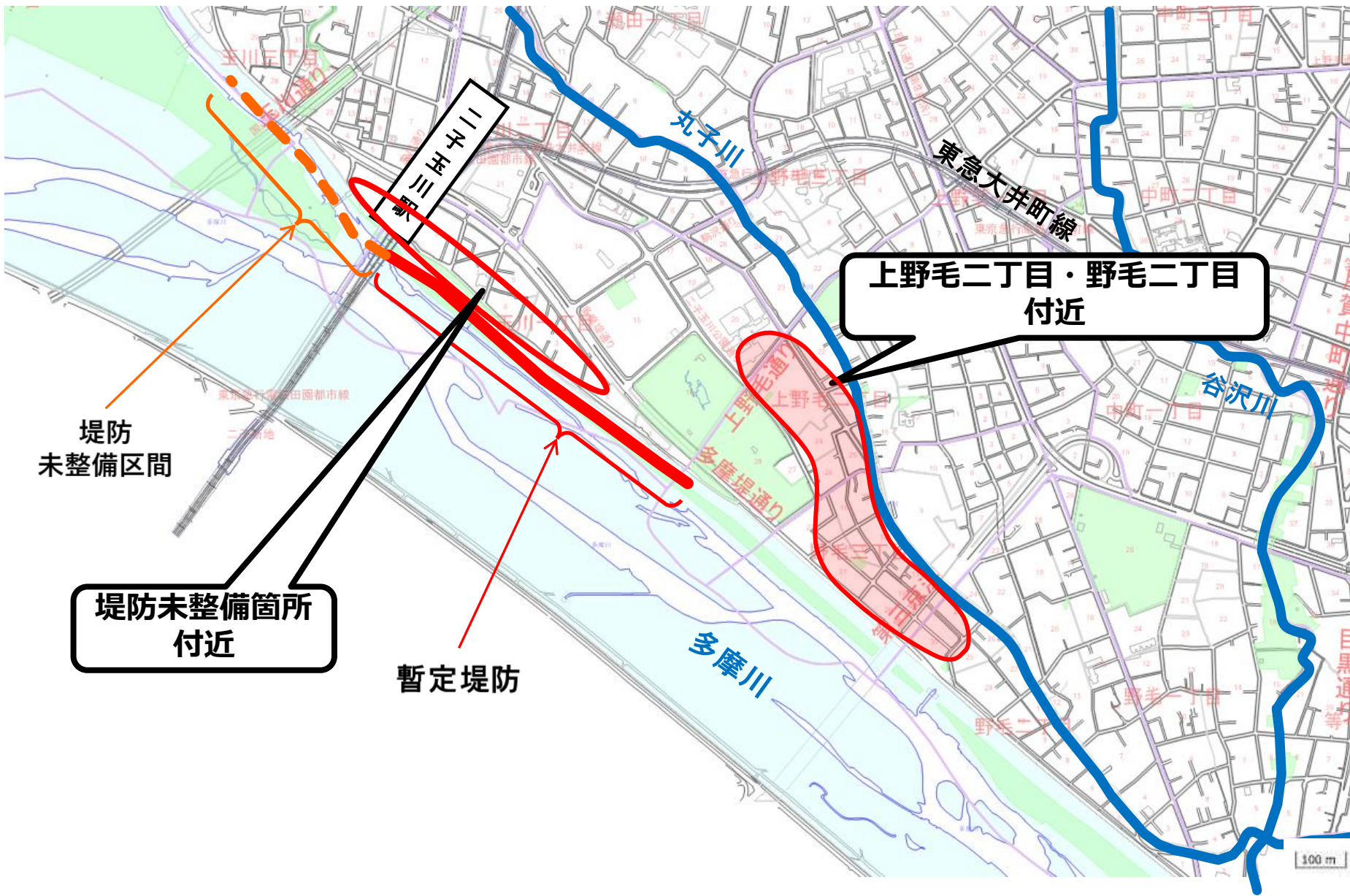
宇奈根一・二丁目、喜多見一丁目付近



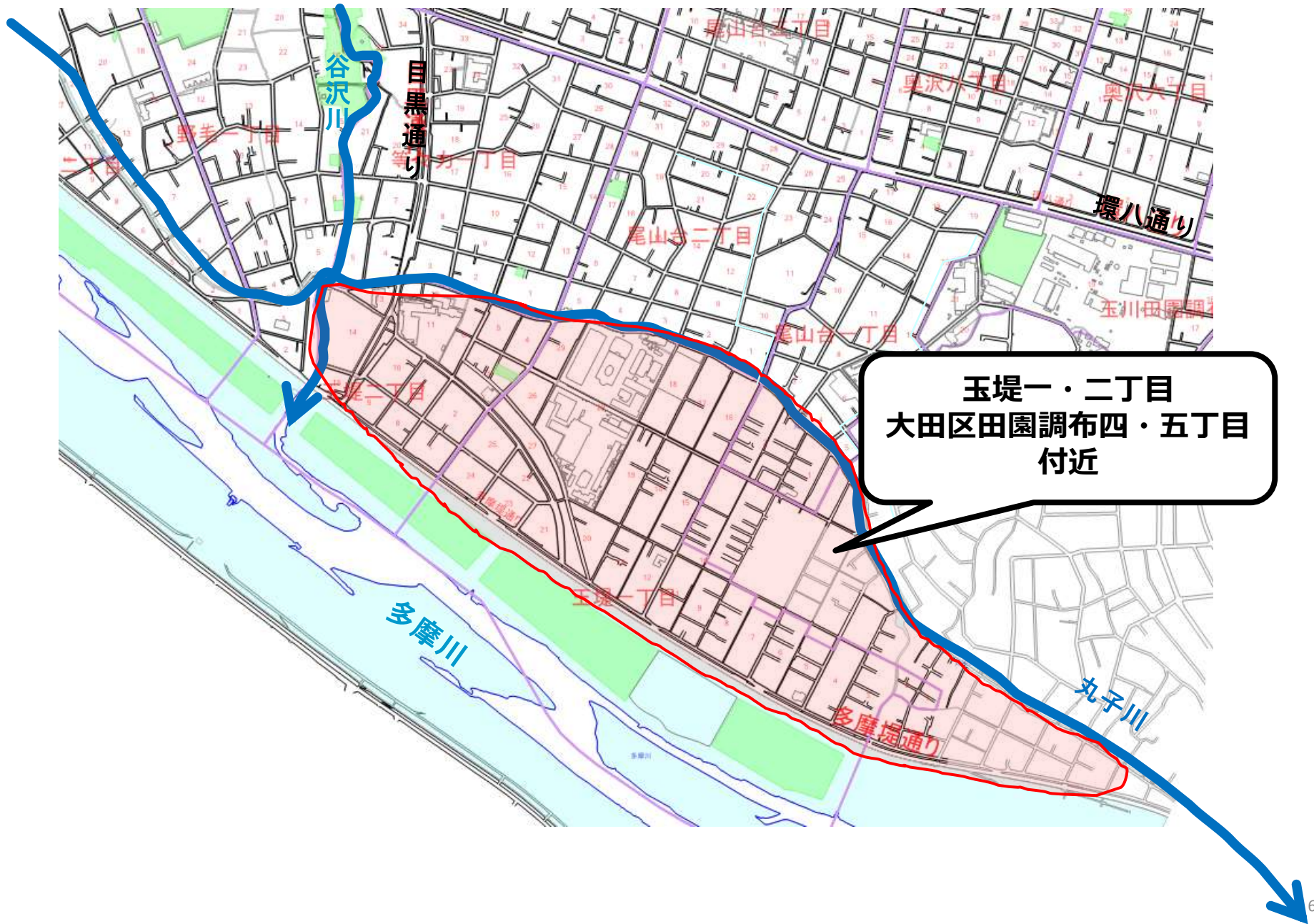
鎌田一丁目付近、玉川三丁目付近



上野毛二丁目・野毛二丁目付近



玉堤一・二丁目付近、大田区田園調布四・五丁目



排水樋管・排水樋門とは

●排水樋管、排水樋門ともに、いわゆる「水門」

※設置者により呼び名が異なります

- ・ 多摩川の水位上昇の際、逆流を防ぐための施設
- ・ 市街地に雨が降っている際に、水門を閉めると雨水が水門付近にたまり、内水氾濫を起こす恐れがある
- ・ 区内には、国設置の排水樋管が2箇所、東京都設置の排水樋門が4箇所あり、開閉は、国、東京都から区に委託されている

砦地域の排水樋門



宇奈根排水樋門



玉川地域の排水樋管・排水樋門



谷川排水樋門



新玉川排水樋管



玉川地域の排水樋管・排水樋門



下野毛排水樋門



玉川排水樋門



等々力排水樋門



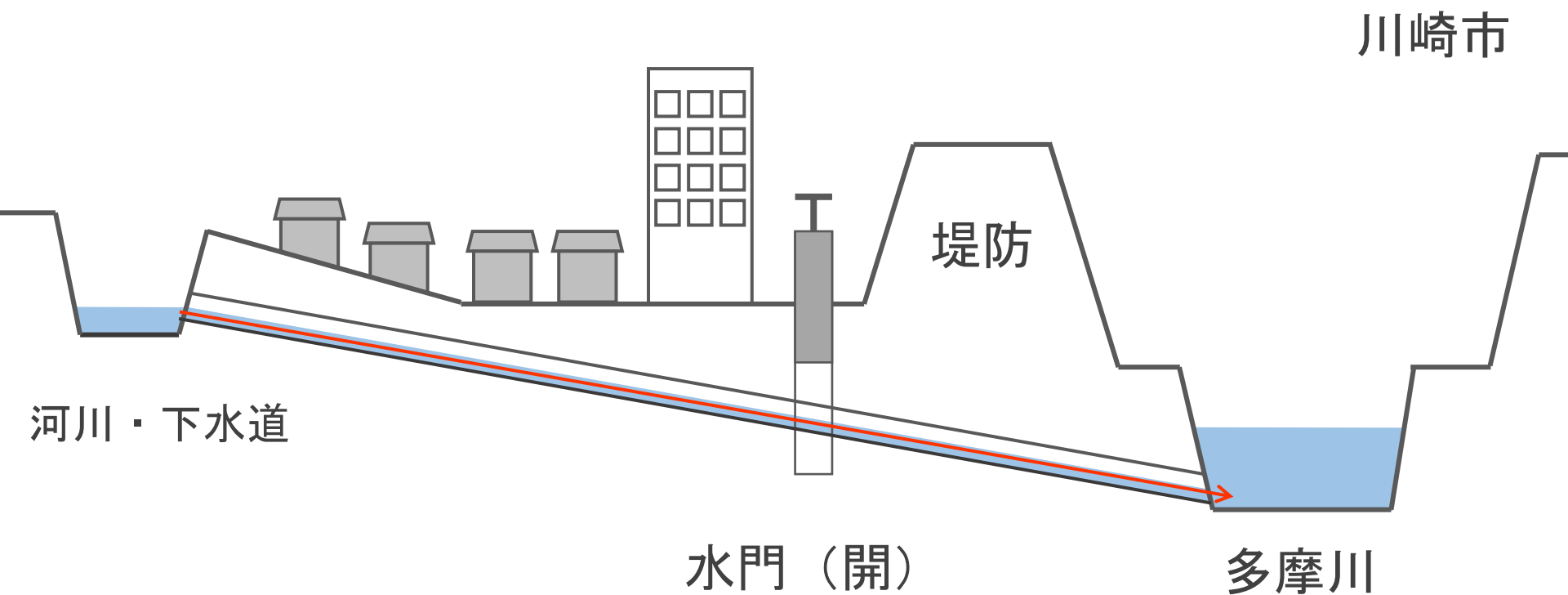
上沼部排水樋門



多摩川の水位の上昇と 樋門・樋管の操作

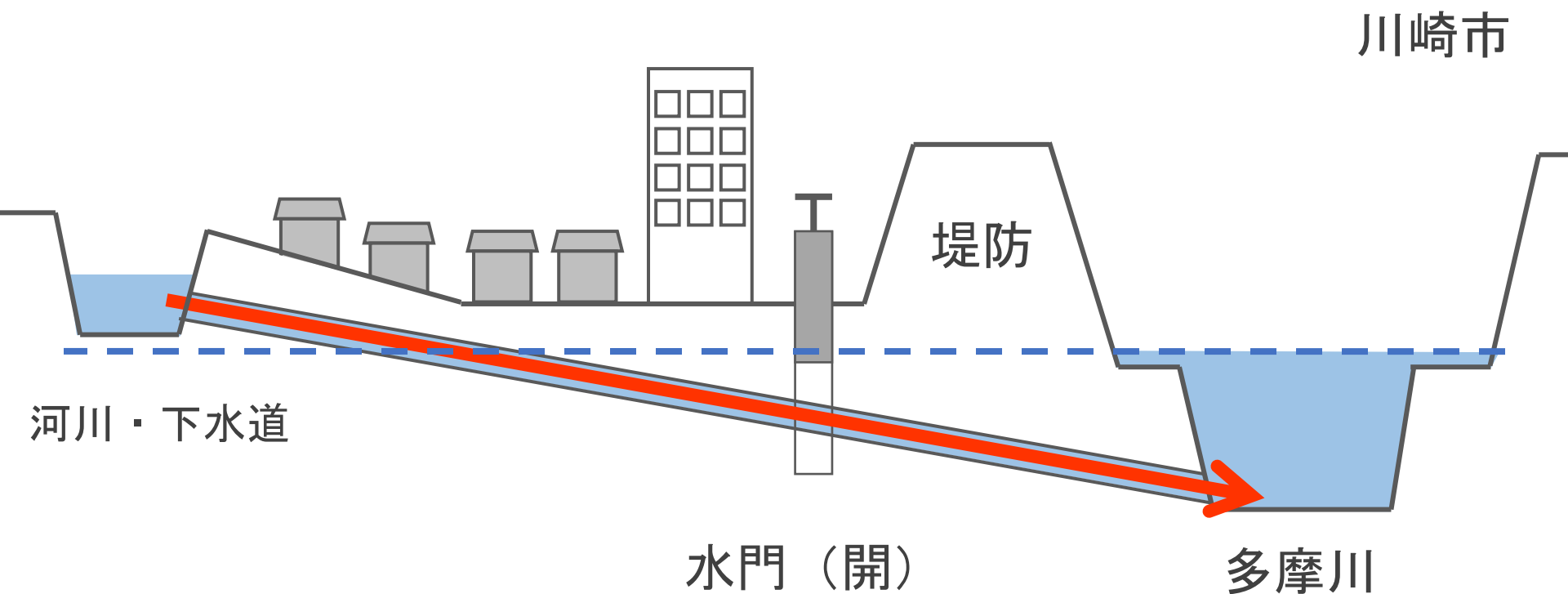
上流側から見た断面図

① 平常時



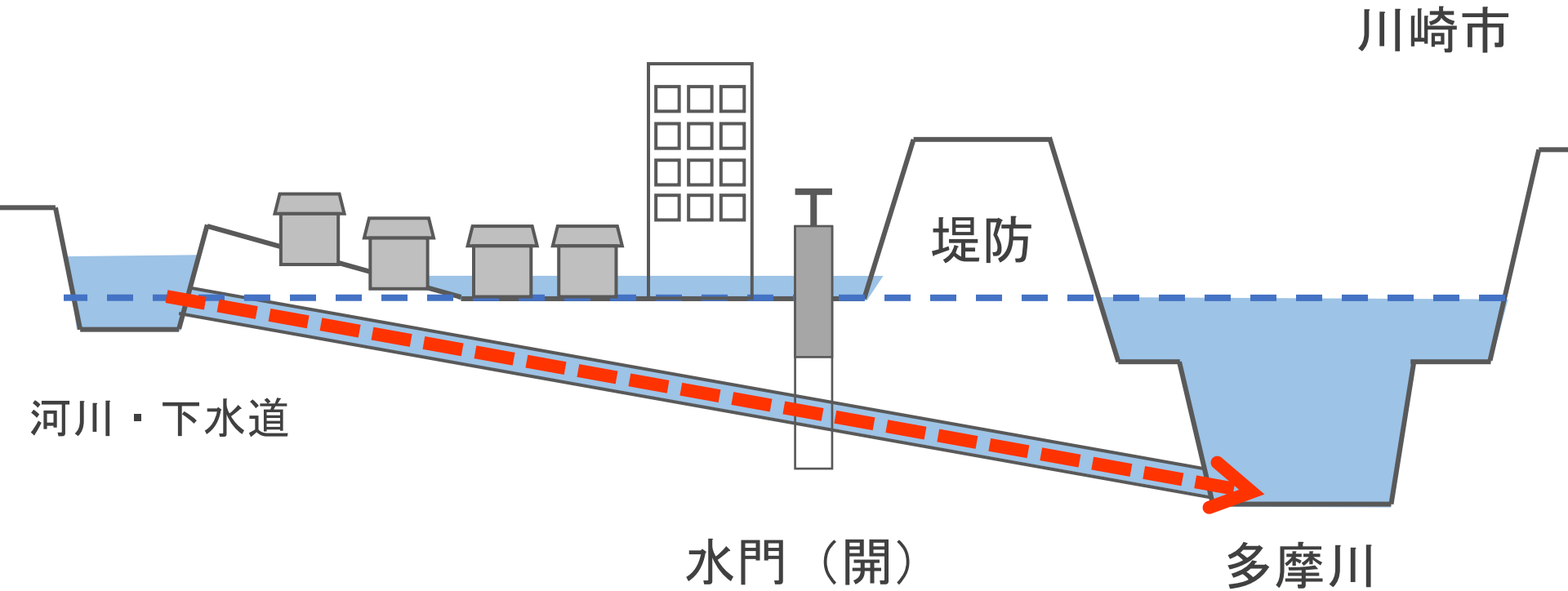
上流側から見た断面図

②雨で多摩川の水位が上昇（排水は可能）



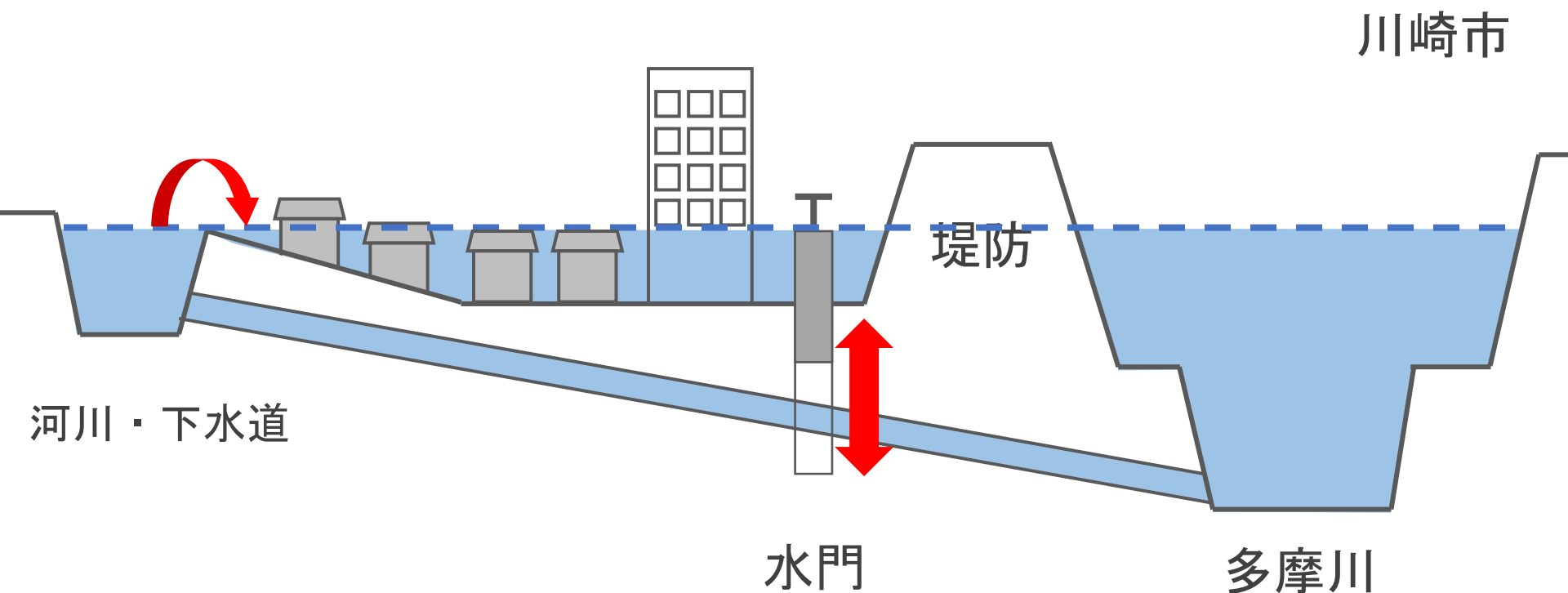
上流側から見た断面図

- ③ さらに多摩川の水位が上昇すると、排水が悪くなり、住宅地の浸水が始まる



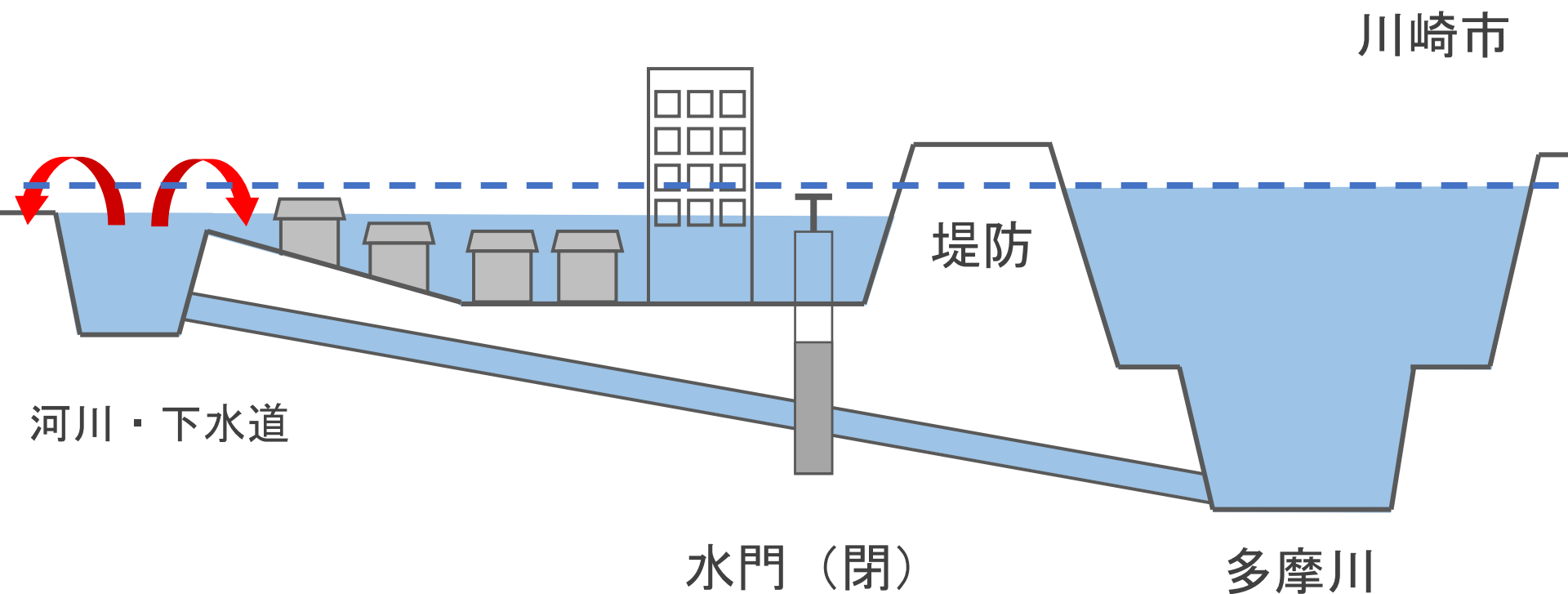
上流側から見た断面図

- ④河川・下水道の水を多摩川に排水できなくなり、
水門の開閉操作を開始する

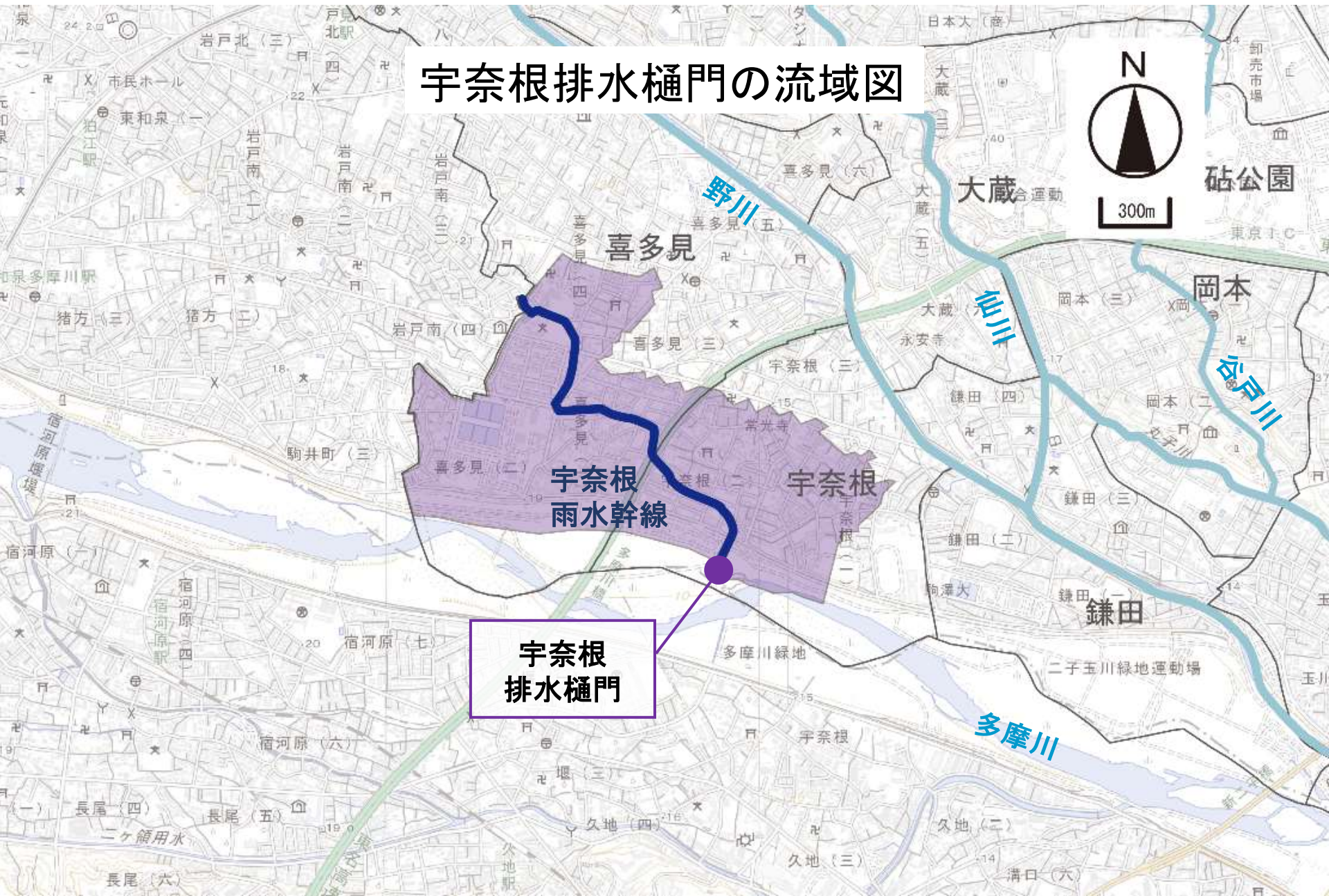


上流側から見た断面図

- ⑤ 多摩川の水が河川・下水道に流れ込む逆流現象を避けるために水門を閉める



宇奈根排水樋門の流域図



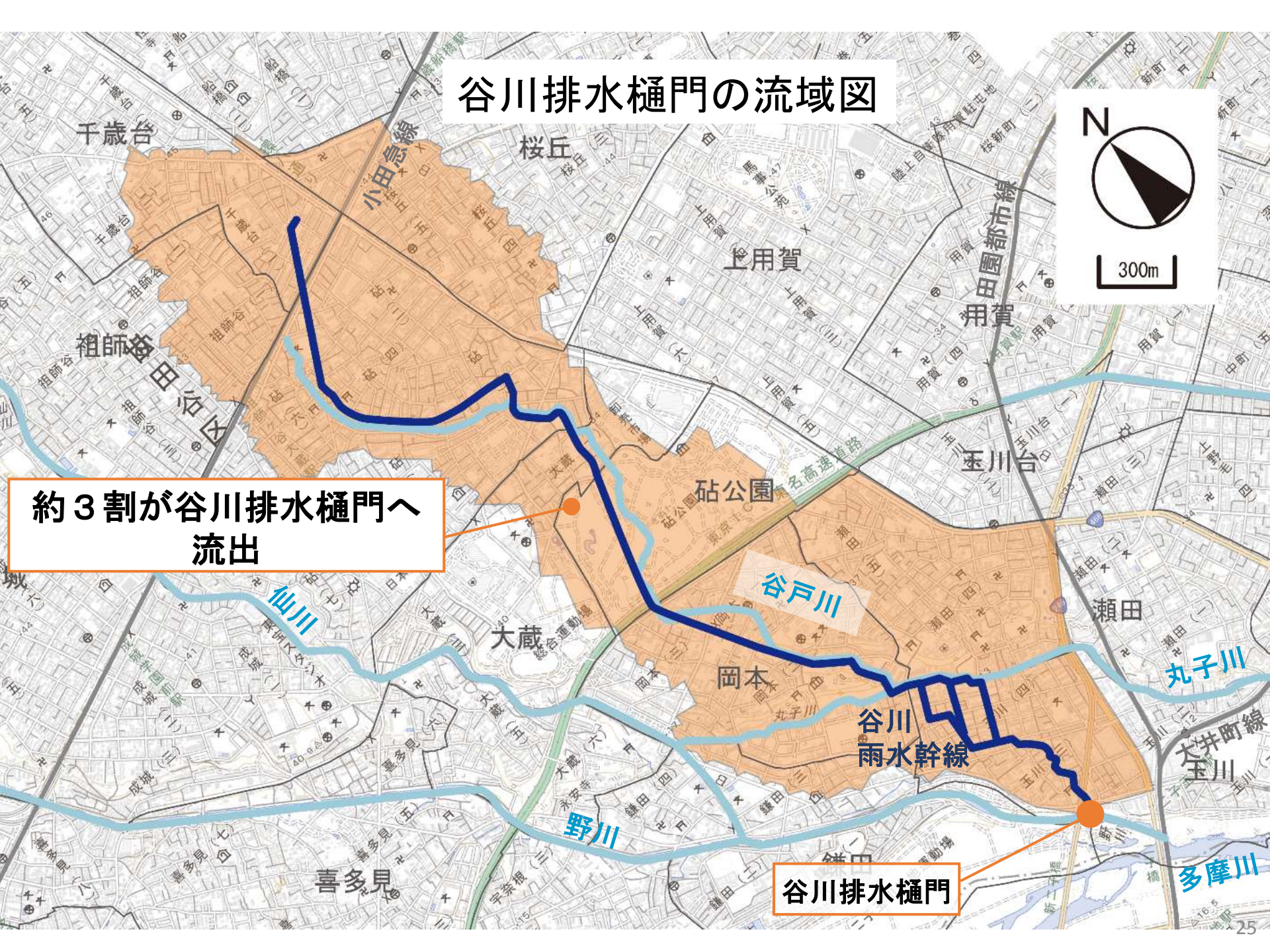
谷川排水樋門の流域図



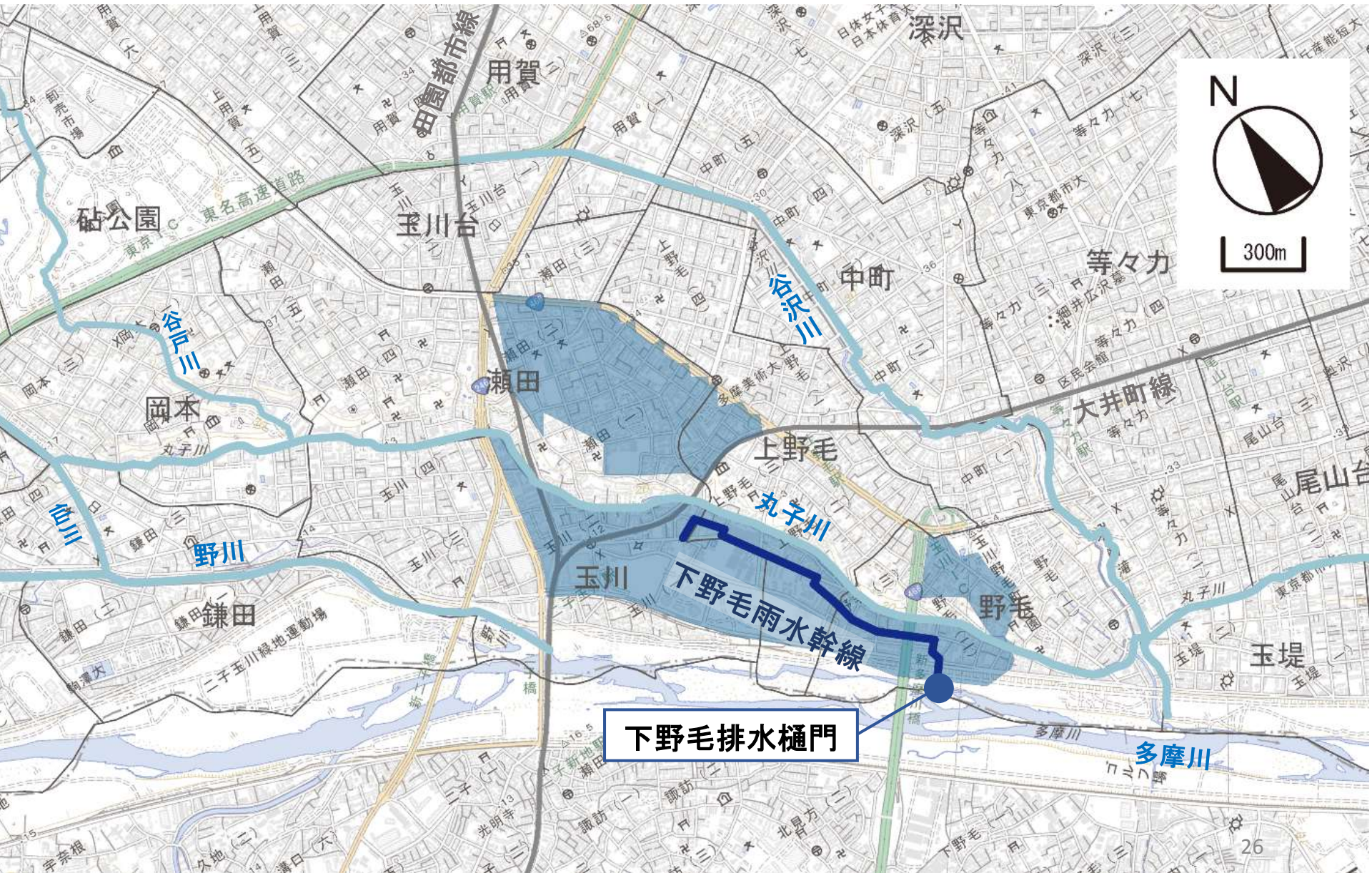
300m

約3割が谷川排水樋門へ
流出

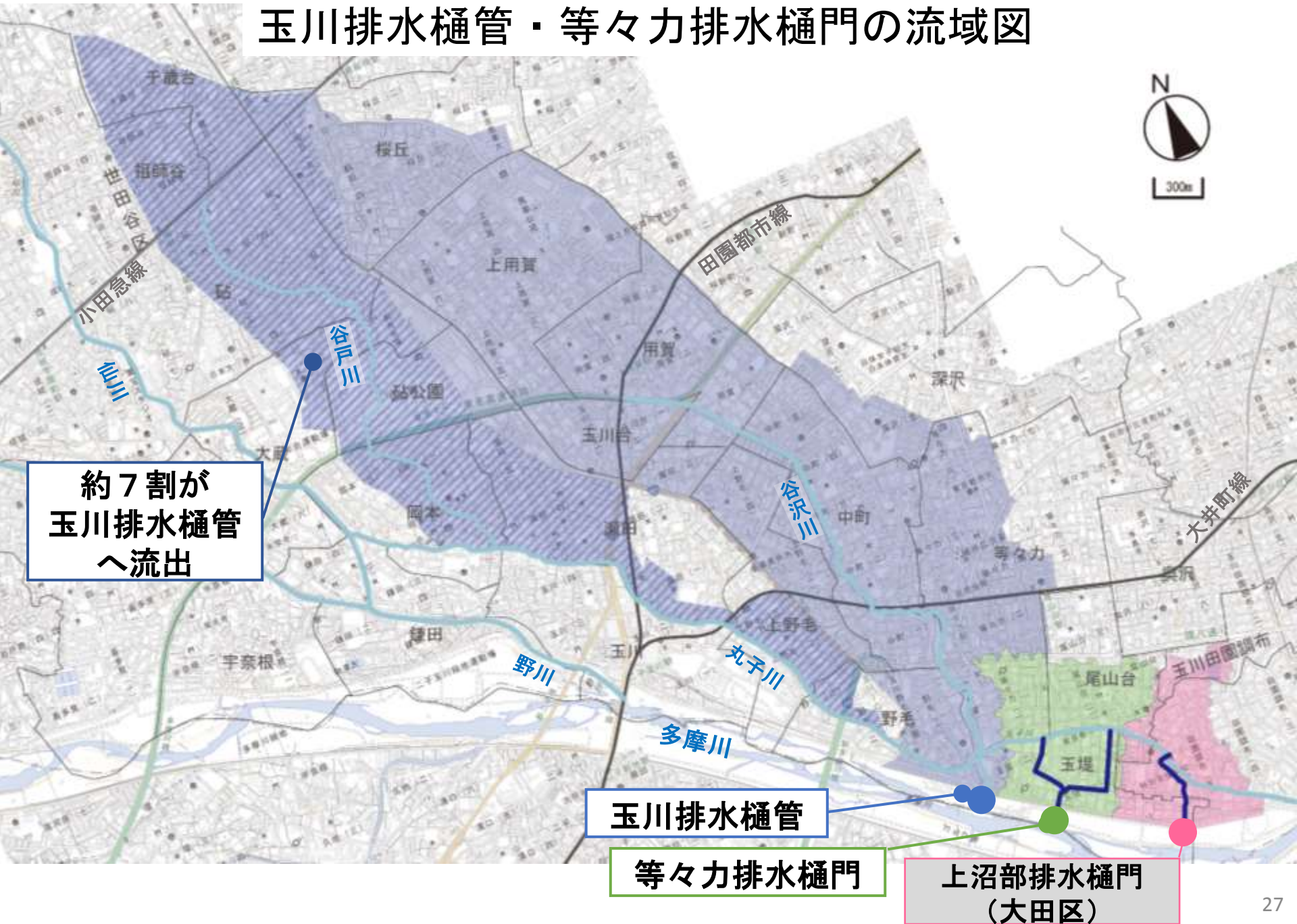
谷川排水樋門



下野毛排水樋門の流域図



玉川排水樋管・等々力排水樋門の流域図



樋管・樋門の操作状況

種別	名称	所有者	閉門作業		開門作業		備考
			閉門時刻	結果	開門時刻	結果	
樋門・樋管 (上流)	宇奈根排水樋門	都	12日(土) 18:30頃 (閉鎖完了) 20:30頃 (撤収)	全閉	13日(日) 5:00頃 (50%程度開門) 15:30頃(全開門)	全開	・宇奈根雨水幹線 ・開門時支障流木あり
	谷川排水樋門	都	12日(土) 20:00頃	全閉	13日(日) 2:00頃	全開	・谷川雨水幹線
	新玉川排水樋管	国	自動	—	自動	—	・二子玉川南地区
	下野毛排水樋門	都	12日(土) 19:06頃 (同刻撤収)	全閉	13日(日) 1:40頃	全開	・下野毛雨水幹線 ・停電により手動操作
	玉川排水樋管	国	12日(土) 19:30 (20:00撤収)	全閉	13日(日) 1:33	全開	・谷沢川
	等々力排水樋門	都	近傍の道路冠水、 強風により 操作できず	開	—	—	・等々力雨水幹線 ・停電

◆現時点で想定される浸水被害の主な要因は？

1. 宇奈根一・二丁目、喜多見一丁目、玉川三丁目

付近の浸水被害の想定要因

- ・ 宇奈根排水樋門、谷川排水樋門の閉鎖などに伴う浸水

2. 堤防未整備箇所付近の浸水被害の想定要因

- ・ 増水した多摩川の水が無堤防箇所から溢水

3. 鎌田一丁目付近の浸水被害の想定要因

- ・ 野川の溢水（多摩川の水位上昇に伴うもの）
- ・ 下水道仮排水施設、新吉沢橋右岸における溢水などが想定される。

4. 上野毛二丁目・野毛二丁目付近の浸水被害の想定

要因

●複合的要因

- ・ 下野毛排水樋門の閉鎖に伴う浸水
- ・ 無堤防箇所から、溢水した多摩川の水が
下水道雨水管に流入し、下流で溢れたこと

などが想定される。

5. 玉堤一・二丁目、大田区田園調布四・五丁目付近 の浸水被害の想定要因

●複合的要因

- ・ 2箇所の水門（玉川排水樋管、上沼部排水樋門）の閉鎖に伴う浸水
- ・ 等々力排水樋門を閉鎖できなかったことで、多摩川の水が流入した可能性と、住宅地に降った雨が多摩川に排水できなかった

などが想定される。

降雨状況・玉川排水樋管画像
アニメーション
10月12日6時～24時（18時間）

最高水位の痕跡



①谷沢川（玉川排水樋管付近左岸）の様子

②谷沢川・丸子川合流点（滝之橋付近左岸）の様子

当面の対応

- 庁内に、学識経験者のほか、国、東京都、大田区および当区職員により検証委員会を組織し、検証に着手します。
- 浸水被害の検証など、関係機関と情報を共有し、また、国、東京都への要請などに、連携して取り組んでまいります。